

# 廃棄物マネジメント研究センターの活動(1)

## 1. 学内廃棄物教育

### ① 廃棄物マネジメントに関する講義科目

センター専任教員は、廃棄物関連科目として、岡山大学環境理工学部において、「循環型社会システム」、「廃棄物マネジメント」、「環境影響評価学」、「都市・地域計画学」、「地盤工学」、「環境計画学」、大学院環境生命科学研究科において「廃棄物工学」、「環境経済評価論」、「環境政策論」、「地盤環境システム工学」などの科目を教授しています。

### ② 大学院GP「アジア環境再生の人材育成プログラム」への協力(2009年度より)

岡山大学大学院環境生命科学研究科では2008年度に大学院GPが採択され、アジア環境問題で活躍できる大学院生を養成する特別コースが設置されました。カリキュラムの中で、プロジェクト実習1(学内循環)において、大学内の物質フロー調査、ごみの資源化検討、実験系廃棄物の適正処理検討などの実習を指導することを指導しました。また、プロジェクト実習2(地域循環)では、岡山市や岡山県の協力のもとに、センター教員が廃棄物問題の実態調査や対策検討などの実習を指導しました。

(詳細は右記をご覧ください <http://www.okayama-u.ac.jp/user/esd-asia/>)

### ③ プロジェクト「学官パートナーシップによるアジア・太平洋諸国を対象とした

#### 廃棄物マネジメントの実践的研究教育」の実施(2010年度より)

学生に早くからアジアの環境問題に触れさせ、世界で活躍できるエリートとして育てるために、アジアの廃棄物をテーマとした学生の研究を推進しました。また、連携大学から積極的に学生を受け入れ、岡山大学において廃棄物等の教育・研究を行ない、対象国における学生エリートを育てました。

(詳細は右記をご覧ください <http://ambiente.okayama-u.ac.jp/gakkan/top.html>)

